

2月、西尾市でバレンタインデー向けバラ出荷 「フラワーバレンタイン」・想いを込めて花を贈ろう

JA西三河のレインボーバラ共選組合（稲垣宣邦組合長）では2月上旬、バレンタインデー向けのバラの集出荷を行います。

近年はバレンタインデーに男性から女性へ花を贈る「フラワーバレンタイン」の動きが盛んで、年々この時期の需要が拡大しつつあります。西尾市周辺のバラ生産者で作るレインボーバラ共選組合では、「地産地消」を重点にかかげ、鮮度の高いバラを主に県内の市場へ出荷しています。



（上）野々宮センターでの出荷作業

（下）収穫に取り組む農家

※実際のバラ出荷作業は概ね上記のとおりですが、ご要望に応じて場面の調整も可能です

■取材対応日■

（出荷風景）

【日時】2月6日（火）午後0時30分

【集合】JA西三河 野々宮センター

（西尾市野々宮町尾竹2-2

電話：0563-56-3207）

（収穫風景）

【日時】2月6日（火）午前8時30分

【集合】JA西三河 野々宮センター

※野々宮センターへ集合後、収穫を行っている農家のハウスへご案内します。

■今年のバラの作柄（1月11日現在）

昨年10月の台風・長雨の影響により、12月までの出荷量は例年の水準を下回っていましたが、年明けからは持ち直し、例年並みの水準まで回復しています。

病害などの目立った被害もなく、今後の大きな天候の乱れがなければ、2月にも品質の高いバラを順調に出荷できそうです。

【レインボーバラ共選組合 概要】

部会員数：15人・1法人

耕作面積：約760^ア

取扱実績：116品種・約530万本出荷、
売上3億7000万円（平成28年度実績）

収穫期：通年



この件に関するお問い合わせは下記までお願いします。

JA西三河 企画課 担当：岡田

電話：0563-56-5214

メール：kikaku@ja-nishimikawa.com

携帯：070-1414-4251

JA西三河 野々宮センター 担当：高須

電話：0563-56-3207

西尾市のバラ生産の概要

～鮮度が自慢！ 地元で美しいバラを届ける～

■西尾のバラ生産の特徴■

西尾市のバラ生産者で作る「レインボーバラ共選組合」では、116種・約530万本のバラを周年生産し、愛知県内を中心に、関東・関西方面の市場へも出荷しています。

平成5年の発足以来「地産地消」と「高品質」を重点に掲げており、愛知県内の市場への販売額は県内一。また発足当初より湿式輸送（水の入った容器で市場への輸送を行うこと）を全国に先駆けて採用するなど、鮮度への強いこだわりを見せています。

安定経営を背景に、後継者として若い生産者も就農。高品質のバラを将来にわたり出荷できる体制を整えています。

■市民にバラをもっと身近に■

レインボーバラ共選組合では、地元向けのバラ出荷を重点的に行うほか、県内の大型量販店での即売や西尾市主催のイベント参加を通してバラ消費をPRしています。

また同組合婦人部では毎年、西尾市内の小学校で「花育」の授業を行い、子どもたちが花と触れ合う機会を提供しています。

■200種・3500本のバラが満開に！

三河地区最大のバラ園・憩の農園バラ園■

バラは西尾市のシンボルフラワーに指定されており、バラ栽培を楽しむ愛好家のバラ園も多く、市内各地でバラの姿を見ることができます。

J A西三河憩の農園（西尾市齊藤町大割28）に併設されている「西尾市バラ園」は、約200種・3500本のバラが植えられた、西三河地区最大・県内でも有数のスケールのバラ園です。

バラが一番の見ごろを迎えるのは5月ごろで、この時期には毎年県内外から来場者が多く訪れています。赤やピンクなど色とりどりのバラが咲き誇り、甘い香り漂うバラ園は、近隣の住民の散歩コースや憩いの場としても人気です。



(上) 野外庭園
(右) 温室



【生産者部会情報】

名称：レインボーバラ共選組合

部会員数：15人・1法人 耕作面積：約760^ア

流通先：愛知県内の市場（愛知県市場への流通量は県内1位）、および関東・関西方面の市場

取扱実績：116品種・約530万本出荷、売上3億7000万円（平成28年度）

収穫期：通年

（全国の生産概況）（平成27年度）

全国のバラ生産量：2億6990万本

愛知県のバラ出荷量：4910万本（全国1位）

データ：農林水産省 作況調査（花き）平成27年度確報

<https://www.e-stat.go.jp/stat-search/files?page=1&layout=datalist&lid=000001160263>

「フラワーバレンタイン」とは？

～女性は待っている！ 素敵な「花のプレゼント」～

■「フラワーバレンタイン」とは？■

2月14日のバレンタインデーは、日本では女性から男性へチョコレートのプレゼントで想いを伝える日ですが、欧米やアジア諸国では男性から女性へ花を贈ることが定番とされています。

欧米各国の動きにならって『バレンタインデーには男性から女性へ花を贈ろう！』という、花き業界から始まった運動が「フラワーバレンタイン」です。



■女性は花のプレゼントを待っています！■

女性へ花束をプレゼントすることを想像するとき、たいていの男性は「照れくさい・恥ずかしい」と思うのではないのでしょうか。

しかしフラワーバレンタイン推進委員会による調査によれば、女性のうち実に85%が、花をもらうと「相手を好きになる」「見直す」「嬉しい」といった気分になることが明らかになっています。また花を贈る男性に対しては「素敵だ」「オシャレ」「スマート」「デキる男に見える」などの好印象を受ける、といった結果も。男性が想像する以上に、女性は花を贈られることを嬉しく感じています。そう、女性は花のプレゼントを待っているのです！

■「花のプレゼント」男性の意識変化、年々ポジティブに■

また同委員会が2013年から2015年にかけて「日本人男性の“花贈り”に関する意識」の継続調査を行ったところ、『花を贈る瞬間の気分』については、「恥ずかしい・照れくさい」の回答が年々減少する一方で、「楽しい・わくわくする」回答が上昇し、2015年には初めて「恥ずかしい・照れくさい」を上回りました。花に関する男性の意識にも徐々に変化が見られています。

■花束のプレゼントは「サプライズ」がチャンス！■

『いつ花束をプレゼントされるのが嬉しい？』との調査では、『誕生日』や『結婚記念日』が上位となったほか、「サプライズでもらうのがうれしい」との回答も40%以上となっています。照れくさくて女性へプレゼントしたことがない、という人ほどサプライズのチャンス！ 目の前に迫ったバレンタインデーは、花束をプレゼントする絶好のタイミングです。ぜひ花束を贈ってみてください！